

病院フォーミュラリ（神経障害性疼痛治療薬）

2026年9月作成

	製品名（一般名）
推奨薬	プレガバリンOD錠 25mg、75mg （プレガバリン）
オプション	タリージェOD錠 2.5mg、5mg、10mg、15mg ^{※1} （ミロガバリン）

※1：院外処方専用薬

- 「線維筋痛症に伴う疼痛」の適応を有するのはプレガバリンOD錠のみ。
- 糖尿病診療ガイドライン2024において、中等度以上の有痛性糖尿病性神経障害に対してプレガバリンとミロガバリンは並列で推奨されている。
- がん疼痛の薬物治療に関するガイドライン2020では、プレガバリンとミロガバリンは鎮痛補助薬として並列して記載されている。
- 抗がん剤による末梢神経障害には、ミロガバリンが有効であるとの報告もある。
- 非神経障害性腰痛に対するプレガバリンの有効性は確立しておらず、効果が限定的であることから、本適応での使用は推奨しない。（なお、同様の作用機序を有するミロガバリンについても、同様の観点から慎重に適応を判断すること。）

参考資料：各医薬品添付文書及びインタビューフォーム、糖尿病診療ガイドライン2024
がん疼痛の薬物治療に関するガイドライン2020年度、慢性疼痛治療ガイドライン
Yoshida M et al. BMJ Support Palliat Care. 2025（CIPNに対するミロガバリン有効性）
厚生労働省：第4期医療費適正化計画関連資料